



Yokohama Arts Foundation

現在進行形のアートを紹介するシリーズ展 13回目の開催

## 「あざみ野コンテンポラリーvol.13

# CLOTH×OVER クロスオーバー 糸と布 日常と生を綴る」

### ■3人のアーティストが「糸」と「布」によって綴る日常と生

横浜市民ギャラリーあざみ野(横浜市青葉区)では、2022年10月8日(土)～10月30日(日)の22日間、企画展「あざみ野コンテンポラリーvol.13 CLOTH×OVER 糸と布 日常と生を綴る」を開催します。

「あざみ野コンテンポラリー」は、美術という枠や社会的評価にとらわれず、様々なアーティストの表現活動を紹介するシリーズとして2010年度に開始し、これまで現代的かつ挑戦的な内容を発信してきました。

13回目となる本年は、「糸」「布」を素材として、「縫い」「織り」「刺繍」「染め」などのプロセスを通じて制作を続けている3人のアーティスト—遠藤薫、小林万里子、ユ・ソラによる作品を取り上げます。

会期中には、出品作家によるクロストークの他、ワークショップや講座、担当学芸員によるギャラリートークといった、関連イベントも開催します。

記者の皆さまには、事前周知へのご協力及び会期中の取材をお願いしたく、ご案内申し上げます。



ユ・ソラ/日々をかさね/2022/ミクストメディア、インスタレーション

### ■開催概要

【事業名】あざみ野コンテンポラリーvol.13 CLOTH×OVER 糸と布 日常と生を綴る

【会期】2022年10月8日(土)～10月30日(日) 22日間 ※10月24日(月)休館

【時間】10:00～18:00

【会場】横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1

(横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野内)

【出品作家】遠藤 薫 (えんどう かおり)、小林 万里子 (こばやし まりこ)、ユ・ソラ

【料金】入場無料

【主催】横浜市民ギャラリーあざみ野 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

【助成】芸術文化振興基金、公益財団法人野村財団

【HP】<https://artazamino.jp/event/azamino-contemporary-20221030>

※会期中の関連イベントなど、詳細は当館ホームページをご覧ください。

当事業の情報掲載・ご取材の際は、事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先 \*本日は17:15まで在席しております。

横浜市民ギャラリーあざみ野 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

館長 原田由布子 TEL: 045-910-5656

展覧会担当 佐藤直子、日比谷安希子 TEL: 045-910-5656

主催 | 横浜市民ギャラリー あざみ野 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団] 助成 | 芸術文化振興基金  
Organizer: Yokohama Civic Art Gallery Azamino (Yokohama Arts Foundation) Grants from: Japan Arts Fund, Nomura Foundation

Venue: Yokohama Civic Art Gallery Azamino  
Exhibition Period: Saturday, October 8 – Sunday, October 30, 2022  
Hours: 10:00-18:00 Closed: Monday, October 24 \*Free admission

Endo Kaori Kobayashi Mariko Yu Sora  
遠藤 薫 小林 万里子 ユ・ソラ



CLOTH X OVER

糸と布 日常と生を綴る

Azamino Contemporary  
あざみ野コンテンポラリー vol.13

横浜市民ギャラリー あざみ野 展示室 1 2022年10月8日[土] – 10月30日[日] 開場時間 | 10:00 – 18:00 休館日 | 10月24日[月] 入場無料

シリーズ第13回となる本展では、「糸」「布」を素材として、「縫い」「織り」「刺繡」「染め」などのプロセスを通じて制作を続けているアーティストたちによる作品を取り上げます。糸や布は、人々の生活や地域文化に密着した素材として発展を遂げてきました。また、様々な機能を有する布は、人が日常的に触れる機会も多く、様々な記憶を呼び起こすと同時に、快・不快の感覚にも深く関わるものです。本展では、身近な素材を用いながら、日常の機微、労働や手仕事の視点、ひいては生成と消滅の循環について、アーティストそれぞれの日常的感覚が豊かにクロスオーバーする表現の世界を紹介します。

大正堂	東急 ストア	横浜 橋本 1番出口	1 1番出口	1 1番出口	1 1番出口
至渋谷	あざみ野駅 バス ターミナル	横浜 橋本 2番出口	2 2番出口	2 2番出口	2 2番出口
		山内 図書館			
		東急田園都市線			
		至中央林間			

右：重カと虹霞・沖繩 Gravity and Rainbow Okinawa/2022 /インスタレーション/サイズ可変 提供：沖縄県立博物館・美術館  
左：閃光と落下傘/2020/古布 撮影：チルノブ・パロディ 提供：青森公立大学 国際芸術センター青森 (AACAC)



1989年大阪府生まれ。沖縄や東北をはじめ国内外で、その地に根ざした工芸と歴史、生活と密接な関係にある政治の関係を紐解き、主に染織技法を用いて制作発表を続けている。「使う」ことで布の生と人々の生を自身の身体を用いてパフォーマンスにトランスし、工芸の本質を拡張することを制作の核とする。

Endo Kaori  
遠藤 薫



1. 出品作家によるクロストーク  
出演 | 遠藤薫、小林万里子、ユ・ソラ  
日時 | 10月8日 [土] 14:00-15:30  
会場 | 3階アトリエ  
定員 | 40名  
料金 | 500円

2. ワークショップ  
「私たちの住んでいる家」おうちのモケイをつくろう！  
講師 | ユ・ソラ  
日時 | 10月22日 [土] 14:00-16:00  
会場 | 3階アトリエ  
対象 | 小学生以上 ※小学生は保護者の方とご参加ください。  
定員 | 10グループ ※1グループ、保護者を含め4名まで。1人でも参加可。  
料金 | 1人1,000円、同グループ2人目以降 500円 (材料費込)

3. あざみ野カレッジ企画展関連講座  
「ルース・アサワの芸術」  
講師 | 沢山遼 (美術批評)  
日時 | 10月29日 [土] 14:00-16:00  
会場 | 3階アトリエ  
定員 | 40名  
料金 | 一般1,000円 / 「あざみ野カレッジ」にご登録の方 500円

4. 担当学芸員によるギャラリートーク  
日時 | 10月23日 [日] 14:00-14:30  
会場 | 展示室1  
事前申込不要、参加無料

お申込みは、展覧会ウェブサイト「申込フォーム」から。  
※1~3は要事前申込(先着順)、保育の利用が可能です。  
詳細はウェブサイトをご確認ください。



Yu Sora  
ユ・ソラ



Kobayashi Mariko  
小林 万里子



上：Apotheosis / 2019/土、絹土、珪藻土、木綿、麻、羊毛、アクリルカotten / h.110×w.150cm 下：終わりのないよろこび / 2021/羊毛、シェード、木綿、麻 / h.380×w.600cm

1987年大阪府生まれ。織る、染める、編む、刺す、といったテキスタイル技法を用い多様な素材を組み合わせて、世界に存在する様々な結びつきを表現する。重層的に織りなされる色や形によって現れる混沌のイメージの中から、生命の本質的な姿を描き出すことを試みている。



右：日々をかさね / 2022 / ミクストメディア、インク、ステンシル / 左：BankART Under35 2022 | BankART KAIKO (横浜) 展示風景 撮影：BankART1929

1987年韓国、京畿道生まれ。日本と韓国を拠点に、災害や事故などで突然失うこともある日常や些細な日々をテーマに、白く柔らかい布に黒い糸で刺繡を施し、日常の風景を記録するような立体・平面作品を通じて、日常とは何かについて問い直すような空間をつくりだしている。

【お問合せ】 横浜市民ギャラリーあざみ野 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]  
〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野内 Tel. 045-910-5656 Fax. 045-910-5674

【交通】・東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分 ・横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分 駐車場：27台(有料・予約制) Tel. 045-914-5910  
ご来場の際は、ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。 <https://arazamino.jp/> Follow us on facebook Instagram Twitter

